

2014年10月1日
2014年10月14日改訂

お客様 各位

日本ストラステクノロジー株式会社

ストラタス製品における GNU bash の脆弱性 CVE-2014-6271, CVE-2014-7169, CVE-2014-7186, CVE-2014-7187, CVE-2014-6277, CVE-2014-6278 について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。首題の件につきまして下記の通りご報告申し上げます。

敬具

記

1. ご案内

多くのシステムで利用されているGNU bashの環境変数の処理に脆弱性が見つかりました。この問題は“Shellshock”(CVE-2014-6271, CVE-2014-7169, CVE-2014-7186, CVE-2014-7187, CVE-2014-6277, CVE-2014-6278)として報告されており、この脆弱性によりウェブサーバ等で動作するプログラムを使ってシステムへの内部コマンドの発行を可能にしてしまうため、この脆弱性を悪用した外部からの攻撃によってシステムが影響を受ける可能性があります。

このドキュメントでは各ストラタス製品に対するこの問題の影響とその対応について記述しています。

2. 各ストラタス製品に対するこの問題の影響とその対応

Red Hat Enterprise Linuxシステム

- RedHat Enterprise Linuxが稼働している全てのftServerシステムがこの脆弱性の影響を受ける可能性があります。

RedHat社から各リリースに対して本脆弱性を修正したエラータが公開されています。詳細につきましては、RedHat社のウェブページをご参照下さい。尚、公開されたエラータを適用してもftSSS/AULへの影響はございません。



<https://access.redhat.com/solutions/1207723>
<https://access.redhat.com/articles/1200223>
<https://rhn.redhat.com/errata/RHSA-2014-1306.html>

尚、ご利用中のRed Hat Enterprise Linuxのリリースを確認する場合には、
コンソールから以下のコマンドを実行します。

```
"cat /etc/redhat-release"
```

VMwareシステム

➤ この脆弱性の影響を受ける可能性があります。詳細は以下の通りです。

① ESXi 5.0, 5.1, 5.5 が稼働しているftServerシステム

OSのベンダーにより上記バージョンのESXiオペレーティングシステムではこの問題による脆弱性の影響を受けないことが確認されています。(詳細につきましては以下のVMware社のURLをご参照下さい)

http://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?language=en_US&cmd=displayKC&externalId=2090740

ただし、ftSys管理アプライアンス仮想マシンはこの問題による脆弱性の影響を受ける可能性があり、別紙1のftSys管理アプライアンスへのbashパッチ適用手順を参照し、下記ftpサイトから修正パッチをダウンロードの上適用をお願い致します。

<ftp://ftp.stratus.com/cac/ftServer/Appliance.htm>

② ESX 4.0が稼働しているftServerシステム

脆弱性の影響を受ける可能性があり、VMware社より以下URLにて修正パッチESX400-201410401-SGが公開されております。修正パッチの適用を推奨します。
尚、公開されたパッチを適用してもftSSS/AULへの影響はございません。

http://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?cmd=displayKC&docType=kc&externalId=2090851&sliceId=1&docTypeId=DT_KB_1_1&dialogId=384468071&statId=1%200%20384470039

※尚、導入されている各仮想ゲストOSの脆弱性への対応につきましてはOSベンダーのサポート窓口にお問い合わせ下さい。



VOSシステム

- 別売のGNU Tools (S877) がインストールされ、bash.pmを使用している全てのOpenVOS/VOSシステムで脆弱性の影響を受ける可能性があります。

この問題については、不具合が下記6つの脆弱性に対して登録され、VOSリリース毎に修正版を作成完了または作成中です。

CVE-2014-6271,CVE-2014-7169,CVE-2014-6277,CVE-2014-7186,
CVE-2014-7187,CVE-2014-6278

下記がVOSリリース毎の対応となります。

VOS17.2をご使用のシステム：

修正版がGnu Toolsリリース4.0.0afにてリリースされました。

Gnu Toolsリリース4.0.0afのインストールメディアを入手し、リリースアップを実施します。

VOS17.0および17.1をご使用のシステム

修正版のGnu Toolsリリースを作成中です。

修正版の準備が完了するまでの間、Gnu Toolsリリース4.0.0afに含まれるbash.pmに入れ替えることにより問題回避が可能です。

Gnu Toolsのインストールメディアおよび修正版のbash.pmの入手につきましては保守窓口にお問い合わせください。

Windowsシステム

- この問題の影響はありません。

everRunシステム

- 脆弱性の影響を受ける可能性があり、現在ストラタスにおいて修正を準備しています。リリースが決まり次第、本ドキュメントにて情報を記載致します。

Avanceシステム

- 脆弱性の影響を受ける可能性があります。
Avance R4.0.0.9にて修正版をリリース致しました。



VTM

- この問題の影響はありません。

ftScalableストレージレイ及び ftScalableストレージレイ G2

- この問題の影響はありません。

3. 関連ドキュメントURL：

- ◇ IPA 情報処理推進機構

<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20140926-bash.html>

◆本件に関するお問い合わせ

日本ストラタステクノロジー株式会社

カスタマーサービス本部 TEL:03-3234-5530

本文書の改訂履歴

版数	発行日	改訂履歴
第1版	2014年10月1日	初版発行
第2版	2014年10月7日	VOS システムの修正版の記載を追加 VMware システムの修正対応の記載を追加
第3版	2014年10月14日	CVE-2014-7186, CVE-2014-7187, CVE-2014-6277, CVE-2014-6278 を追記 RedHat 社のサポート情報 URL を追加 VOS システムの対応をリリース毎に追加 Avance の修正リリースを追加

以上

<別紙 1> ftSys 管理アプライアンスへの bash パッチ適用手順

ftSys 管理アプライアンスは、CentOS 5.5 又は 5.7 を使用しています。(AUL のバージョンにより異なります)
修正済パッチは、ftSys 管理アプライアンスのすべてのバージョンに以下の方法にて適用することができます。

- 1) bash パッチの圧縮済みファイル (ESXi_ftAppliance_bashPatch.tar.gz) を、以下の URL からダウンロードします。
ftp://ftp.stratus.com/cac/ftServer/Appliance.htm
- 2) ダウンロードした圧縮済みの bash パッチファイルを、ftSys 管理アプライアンスの /tmp 等の適当なディレクトリへ移します。
scp 等を使用して、コピーして下さい。

- 3) 移動した bash パッチファイルのチェックサムを以下の例の様に確認します。
このファイルの、md5 のチェックサムは、2dc6eaecf83384a216a28aa11f6065f です。
もし、チェックサムが合致しない場合には、ファイル欠損の可能性があるので、
再度、ファイルのコピー、またはダウンロードをやり直して下さい。

```
例) # md5sum ESXi_ftAppliance_bashPatch.tar.gz
      2dc6eaecf83384a216a28aa11f6065f  ESXi_ftAppliance_bashPatch.tar.gz
```

- 4) 圧縮済みファイルを以下の様に rpm ファイルに解凍し、ファイルのチェックサムを確認します。

```
例) # gunzip ESXi_ftAppliance_bashPatch.tar.gz
      # tar -xvf ./ESXi_ftAppliance_bashPatch.tar.gz
      # ls bash-3.2-33.el5_11.4.x86_64.rpm
      bash-3.2-33.el5_11.4.x86_64.rpm
      # md5sum bash-3.2-33.el5_11.4.x86_64.rpm
      846639634feff1b3a53081a6b3aaf2cb  bash-3.2-33.el5_11.4.x86_64.rpm
```

- 5) 現在インストールされている bash のバージョンを確認します。

```
例) # rpm -qa | grep bash
      bash-3.2-24.el5 (AUL Release 4.0.x for VMware vSphere を使用場合)
      bash-3.2-32.el5 (AUL Release 4.1.x/5.0.x/5.1.x for VMware vSphere を使用の場合)
```

- 6) bash パッチファイル (bash-3.2-33.el5_11.4.x86_64.rpm) を、以下のコマンドにて適用し更新します。

```
例) # rpm -Uvh ./bash-3.2-33.el5_11.4.x86_64.rpm
      Preparing... ##### [100%]
      1: bash ##### [100%]
```

7) エラーメッセージがなく完了する事を確認した後

パッチ (bash-3.2-33.el5_11.4.x86_64.rpm) の適用を確認します。

```
例) # rpm -qa | grep -i bash  
bash-3.2-33.el5_11.4
```

パッチの適用後に、ftSys 管理アプライアンスの再起動は必要ありません。